

未来へつなぐ しが文化活動応援事業

事業番号 0828-0161

事業名 現代版赤備え元服式

代表者 小島 正嗣

コロナ禍での新しい成人の形「第2章 現代版赤備え元服式」を開催します。

滋賀県にゆかりのある「井伊の赤備え」をテーマにファッション・ヘアを軸とした、歴史・文化・伝統を融合し、地域での模範となるべく「**カッコいい大人**」を標榜し活動を行ってきました。我々が目指す「カッコいい大人」とは表に見えるファッション・ヘアに見合うだけの立ち居振る舞い・言動・行動が備わっていることが必須であり「赤備え」活動を通じて「カッコいい大人」を洗練しております。

今回で4回目となる現代版赤備え元服式は、彦根市より後援を頂いております。昨年度は、コロナ禍により彦根市が「市のイベントを中止する」との決定により元服式を開催することができませんでした。

現代版赤備え元服式とは、現代版赤備え集団が宗安寺、玄宮楽々園にて、今年成人を迎える20歳の青年に対して成人式をプロデュースする本人参加型イベントです。



具体的には、赤備え集団の発信場所である赤備え理容室で成人式用のスーツを一流スタイリストを招聘し、選んでもらい誂え、似合うヘアースタyling。





カッコよく仕上がり儀式前には、大人に必要な手水の作法を学びました。

ここまで育ててくれた両親へ
20年間の感謝の言葉を伝えると共に、
バラの花をプレゼント。



宋安寺で成人の儀式を受けます。今年は浄土宗形式です。一人ひとり聖水を頭に垂らして清めて頂きます。儀式後「カッコいい大人」として情報発信する写真撮影です。途中、新聞社による取材を受け、滋賀から生まれた新しい成人式の形である「元服式」成人5名が取材を受けました。





玄宮園鵬翔台にて、成人5名が茶道の所作を学びました。



この一連の行為を元服の儀とします。これは、学校や会社では教えてもらえない「教育」と我々は考えています。



この活動を専属カメラマンがそのすべてを撮影します。赤備え集団が発信している、新ファッション文化を20歳に継承するこの活動を、そして自分達の行動が後輩達の手本となる様に粋な格好、行動をしてもらい、あぁなりたいと思われることを目的とします。

コロナ禍での開催にあたり参加者名簿を作成し、朝の体温を記入平熱確認後、イベ



ントがはじまりました。適時のアルコール消毒、各々がソーシャルディスタンスを心掛け、食事を設けず感染機会をなるべく減らす取り組みで行いました。

11/14 中日新聞社様に元服式の記事が掲載されました。

(複製権無効)



オタメイトのスーツを纏って記念撮影に臨む新成人ら。彦根市本町にて

理容師らの団体・赤備え集団が「元服式」

新成人よ格好良い大人に

彦根 ファッションなど外見に気を遣うことを通じて、若者に「大人の格好良さ」を身に付けてもらおうと、彦根市内外の理容師らでつくる団体「現代版赤備え集団」が七日、「元服式」を開いた。新成人ら五人が新調のスーツを着こなし、写真撮りや茶道体験に臨んだ。

五人は、彦根藩の「井伊の赤備え」にちなんで一部に赤色を取り入れたスーツを着て式に参加。宗安寺（同市本町）で記念撮影をした後、国の名勝に指定されている玄宮園（同市金亀町）で茶道体験もした。スーツは、「個性が際立つように」と、参加者と現代版赤備え集団が相談して仕立てた。杉山通人さん（20）野洲市は「想像以上に自分に合っており、着ると大人の仲間入りをした気持ちになった」と話した。

現代版赤備え集団は、大人としてふさわしいあり方を若者に伝えようと、二〇一七年から元服式を企画してきた。代表の小島正嗣さんは「元服式は、自分が周りの人から見られていることを意識するきっかけ。大人として恥ずかしくない振る舞いを身に付け、その格好良さを発信してほしい」と話した。（渡辺雄紀）

直剣 ホテルの仕

11/11 読売新聞社様に元服式の記事が掲載されました。

赤備えポイントにしたスーツに身を包み、写真撮影に臨む新成人ら（彦根市で）

おしゃれ赤備え 成人の誓い新た

彦根で五人「元服式」

武員を赤で統一し、武勇の誓いと語り継がれた「井伊の赤備え」にちなみ、赤をワンポイントにしたスーツ姿で臨む「現代版赤備え元服式」が七日、彦根城（彦根市）近くの寺院などで行われた。

◆読売新聞 オンライン 第73回正倉院展は奈良版で

千五郎家から茂山千之丞さんが指輪に招かれ、狂言の笑い方や立ち方のほか、すり足で歩くコツを伝授。歩くスピードを速める

であり、市内の新成人ら五人が心構えを新たにしました。ファッションを通じて歴史や文化を学び「カッコいい大人」を目指してもらおうと、同市内の理容師やスタイリストら13人でつくる「現代版赤備え集団」（小島正嗣代表）が2017年に始めた。昨年はコロナ禍で中止し、2年ぶり。小島代表らが声をかけた今年の新成人4人と昨年の一入が赤のネクタイやポケットチーフで揃ったスーツ姿で集まった。

五人は井伊家ゆかりの宗安寺で儀式に臨み、彦根城内の玄宮園では茶道を体験。創立大2年岡田俊介さん（20）は「コロナで大学の入学式もなかったのですが、成人としての自覚と責任を感じることができた。内面の深さがにじみ出るような大人になりたいと話した。

びわ湖の水位 マイナス50センチ（7日）

あすのこよみ
 11月9日（火曜日）
 旧暦10月5日—友引
 日出 6:24
 日入 16:53
 月出 11:13
 月入 20:51